

[No. 6] センサに関する記述として、**適切なものは次のうちどれか。**

- (1) 論理信号センサとは、他のセンサとの相関を必要としない装置単独のスイッチの作動・非作動の作用を行うスイッチ（センサ）のことで、ハードウェアの回路構成だけで作用しており、ノック・センサはこれに該当する。
- (2) リニア信号センサとは、検出範囲を定めた中での変化の過程を検出するセンサのことで、検出情報の連続変化に対して電圧を連続変化させるリニア形態の電気信号を作っており、水温センサはこれに該当する。
- (3) 周波数信号センサとは、継続、かつ、規則的に作動している状況の変化を検出するもので、センサから発生する自己起電力で信号が作られており、 O_2 センサはこれに該当する。
- (4) 論理信号センサ、リニア信号センサ、及び周波数信号センサのいずれにも含まれないセンサとして、ダイヤフラムを用いた圧力スイッチ（センサ）が該当する。

正解 (2)

- (1) ノック・センサは論理信号センサ、リニア信号センサ、周波数信号センサのいずれにも該当しない。
- (3) O_2 は論理信号センサ、リニア信号センサ、周波数信号センサのいずれにも該当しない。
- (4) 圧力スイッチ（センサ）は論理信号センサである。